

## 人間文化創成科学論叢』第24巻（2021年度）執筆要領

これは、外部審査制度を採用しているお茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科の学術雑誌『人間文化創成科学論叢』の投稿規定に関わる詳細を記した内規である。論文の投稿に際して十分に留意すること。

1. 投稿論文の書式は次の通りとする。

[文字サイズ] 本文 10 ポイント、註と参考文献は 8 ポイント

[横書きの場合] A4 用紙（縦向き）に横書きで 40 字×40 行

※註・参考文献部分は 1 行が 49 字前後

※英語/仏語/独語の場合 8,000words 以内

[縦書きの場合] A4 用紙（横向き）に縦書きで 38 字×30 行

※註・参考文献部分は 1 行が 46 字前後

[原稿枚数] 横書きの場合 10 枚以内

縦書きの場合 14 枚以内

※Microsoft Word の各バージョンを使用する場合、別紙補足資料の設定手順を確認すること。

2. 図表、写真、註、参考文献一覧は、原稿枚数の中に含める。図表・写真は縮尺率を考慮して枚数内に収まるようにする。（規定枚数を超えた場合は受け付けない。）
3. 図表は、通し番号（図 1、図 2 / 表 1、表 2）、説明（キャプション）などを付した上で、本文原稿中に挿入する。
4. 写真は、通し番号、説明（キャプション）などを付した上で、本文原稿中に挿入する。カラー写真は受け付けない。
5. 註・参考文献の記載法は、各所属学会の方法に準じ、それぞれの論文において表記の統一をはかる。
6. 外部審査には執筆者匿名で出すため、本文内で自著を引用する場合、執筆者を特定できるような書き方をしない。
7. 原稿提出は 2021 年 9 月 2 日（木）17 時の期限を厳守し、指定フォルダにアップロードで提出のこと。操作上の問題がある場合は、編集委員会に相談の上、メール添付での提出も可とする。
8. 原稿提出時には、以下の名前を付けた 2 つのファイル（共著の場合は 3 つ）を提出すること。

### ①原稿ファイル

ファイル名を「氏名（論文）.pdf」とすること。

※下記 a~c を 1 頁目にまとめ、2 頁目より本文としたもの。

原稿は執筆者匿名で外部審査に送付するため、氏名はファイル名にのみ明記し、文書内には記載しないこと。

①-1

a 題目（日本語と外国語のそれぞれの題目、「仮題」であり編集過程での修正は可）

b 外国語ないし日本語の要旨

- ・日本語原稿には外国語要旨（200words 以内、中国語の場合は日本語要旨の文字数に準じる）、外国語原稿には日本語要旨（600 字以内）を付すこと。

c. キーワード(日本語と外国語のキーワードをそれぞれ5つずつ記したもの)

①-2 本文

②投稿届（ファイル名を「氏名（投稿届）.pdf」とすること）

（様式は募集要項の頁からダウンロードする。投稿者が記入後、学内審査員の承認サインをもらったものをスキャンまたは撮影し、PDF または画像ファイルにして提出する。）

- ・氏名は研究者名（通称）でよい。
- ・学内審査員は主任指導教員と同一者で可とする。

③共著の場合は他の共著者の承諾書（様式は自由、「氏名（共著承諾書）.pdf」と名前を付けること）

9. 掲載が決定された場合は、決定通知受領後、以下のものを提出日までに指定フォルダにアップロードで提出のこと。書式の詳細と編集作業日程は、改めて通知する。但し、編集作業中(2021年12月～2022年3月)に連絡の滞った者の論文は、掲載を見合わせることもあるので、注意すること。

【指定サイトにアップロードで提出】

① 最終原稿（Word 形式）

外国語要旨は、使用言語の専門家あるいはネイティブ・スピーカーの校閲を受けたものとする。

② 最終原稿（PDF）①を PDF 保存したもの。印刷会社の確認用。

③ 図表の Excel ファイルや画像ファイル（該当する場合）

④ 転載許可書コピー(該当する場合)

10. 著者校正は、原則として初校のみとする。校正時の原稿訂正は認めない。

なお外国語題目、外国語要旨については、編集委員会が変更を求めることがある。

11. 『人間文化創成科学論叢』第 24 巻は、印刷終了通知受領後、すみやかに本人もしくは代理人が、所定の場所まで受け取りにくること。

12. 第 18 巻より、抜き刷りは刊行後、PDF ファイルにて各自に提供することとする。ただし、掲載決定後に冊子体での抜き刷り作成希望調査を行い、希望者には費用自己負担で提供する。

13. 投稿についての問い合わせ先：

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科

『人間文化創成科学論叢』編集委員会

住所：〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

メールアドレス：[ronso@cc.ocha.ac.jp](mailto:ronso@cc.ocha.ac.jp)

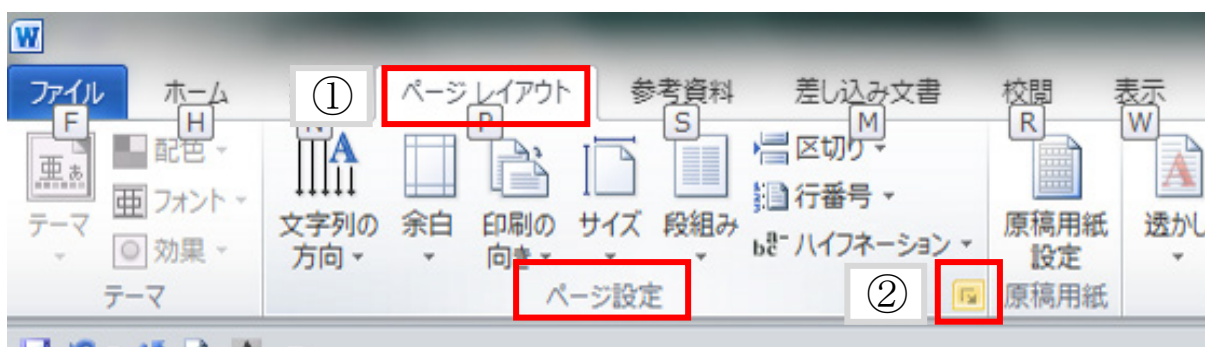
MicrosoftWordでは、ページ設定の画面から「文字数と行数の指定」をし、文字入力画面のツールバーでフォントを10ptにただけでは、実際の1行あたりの文字数が40字を超えてしまいます(概ね42字)。

このまま執筆した場合、規定の文字数よりも1ページあたり2行分、10ページですと20行、すなわち半ページ分の分量超過となってしまいます。

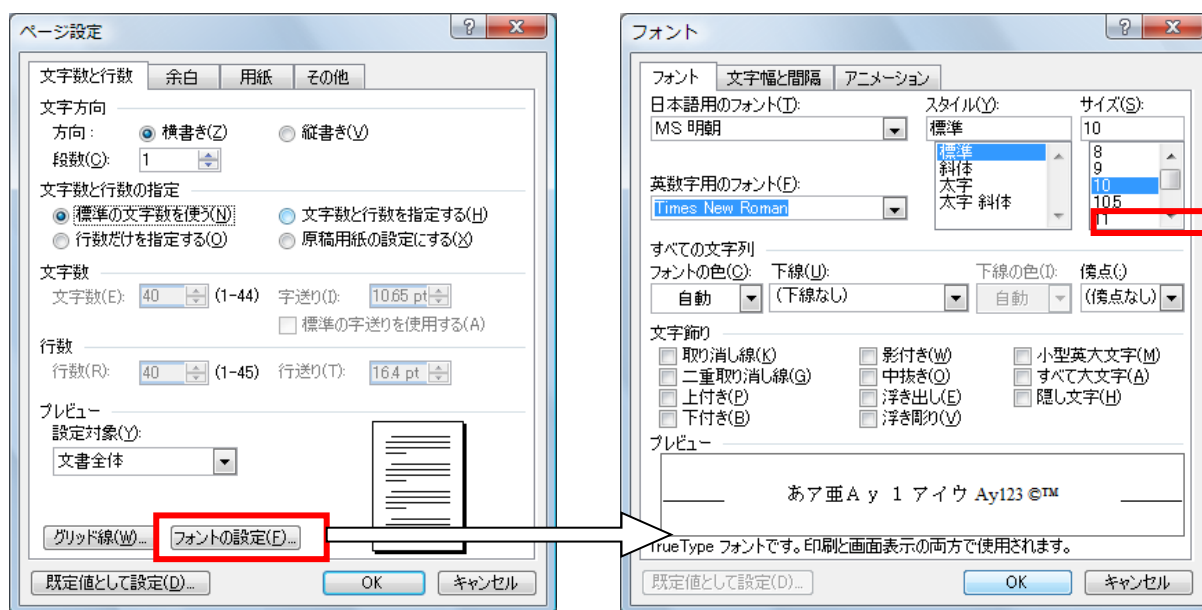
この資料では、「文字数と行数」で指定したとおりの文字数で原稿を作成するための手順をご案内いたします。執筆に取り掛かるにあたり、まずご確認ください。

### 原稿執筆の準備～Microsoft Wordで執筆される方へ (for Windows)

<手順1> [ページレイアウト]のタブを選択し、[ページ設定]の右下の矢印をクリックする。



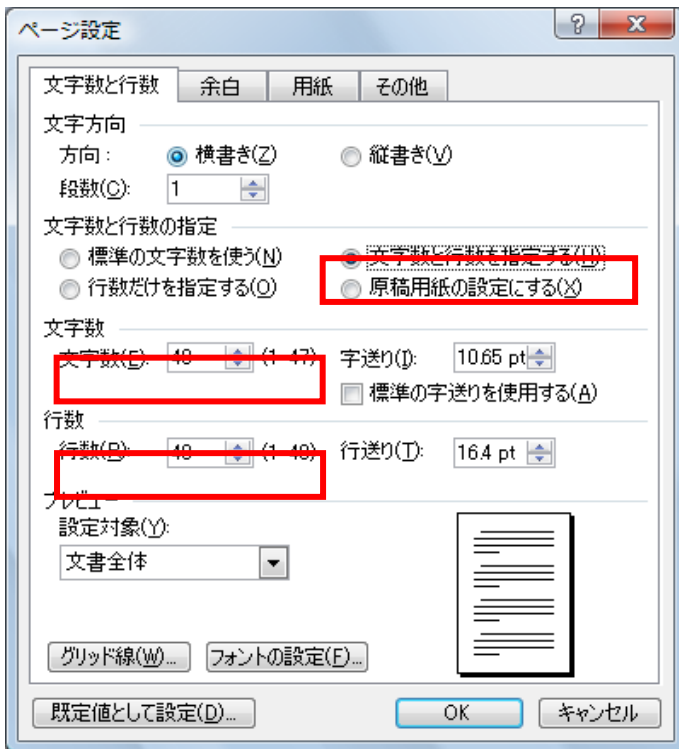
<手順2> 「文字数と行数」タブの下の方、「フォントの設定」ボタンをクリックし、サイズの10ポイントを指定する。フォントの種類に指定がある場合も、ここで設定する。



※ フォントサイズを後から変えると、設定した文字数が変わってしまうので、必ず先にフォントを設定する。

※ プロポーショナルフォントは指定しないこと。(文字により間隔が変わるので)

<手順 3> 「文字数と行数の指定」から「文字数と行数を指定する」を選択し、それぞれ 40 字、40 行を設定する。OK をクリックする。



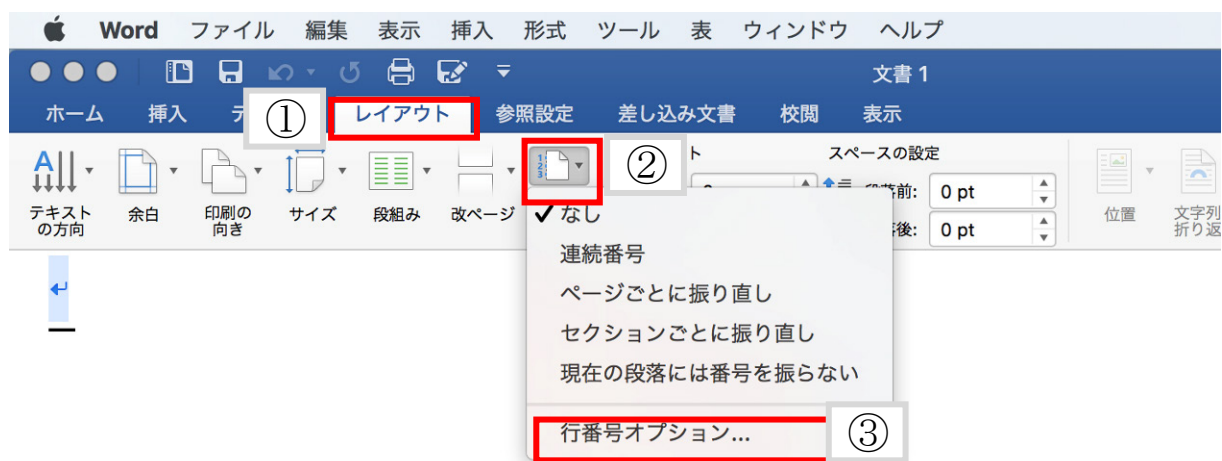
以上です。

この状態で入力し、1 行が 40 字になっていることを確認してください。

2016 年 5 月 『人間文化創成科学論叢』編集委員会

## 原稿執筆の準備～Microsoft Word で執筆される方へ (for Mac)

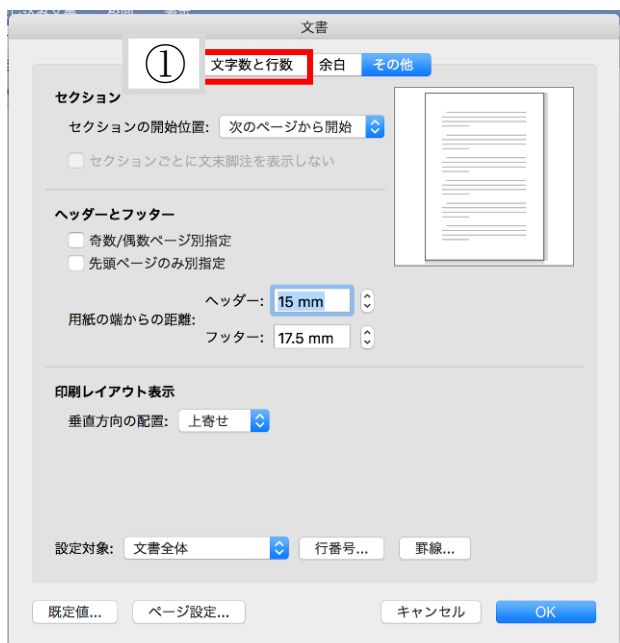
<手順1>[レイアウト]のタブを選択し、[行番号の表示]アイコンをクリック、[行番号オプション]を選択する。



<手順2>[文書]ウィンドウから「文字数と行数」タブをクリックする。

ウィンドウ下方の「フォントの設定」ボタンをクリックする。

※初期設定ではフォントサイズが12ptになっているため、一行の最大文字数が35字になっている。



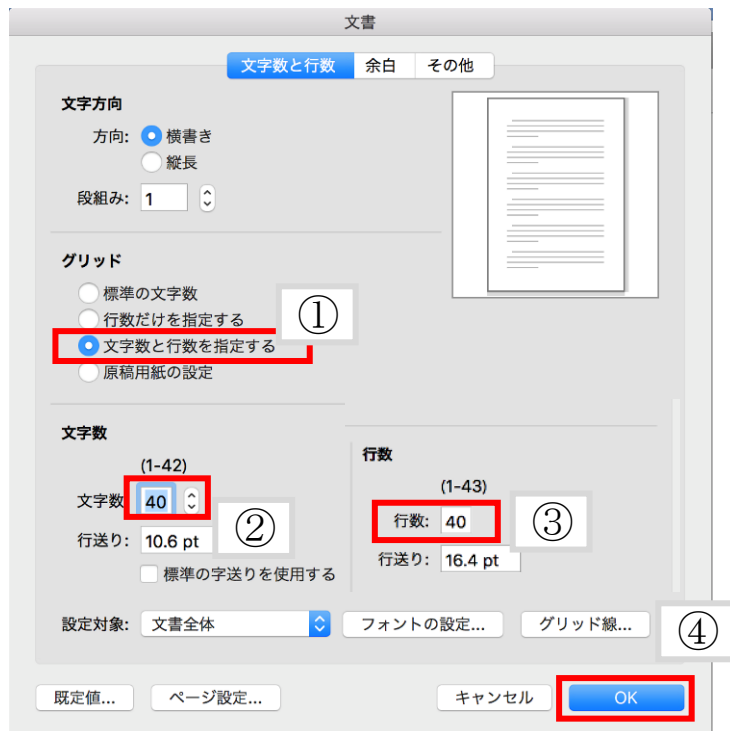
※ <手順 3> フォントサイズを 11pt に設定し、OK ボタンをクリックする。



※文字入力画面の[ホーム]タブからフォントサイズを変えると設定した文字数が変わってしまうので、必ずこの画面でフォントを設定する。

※ プロポーションナルフォントは指定しないこと。(文字により間隔が変わるので)

<手順 4> 「文字数と行数の指定」から「文字数と行数を指定する」を選択し、それぞれ 40 字、40 行を設定する。OK をクリックする。



以上です。

この状態で入力し、1 行が 40 字になっていることを確認してください。